

貼布シ更ニ別紙函、如キ印刷物二百枚ヲ騰寫版刷トシテ配布
スル等活澆ナル運動ヲ為シツ、イリ

八、會社側ノ動靜

會社側ハ總同盟ノ策動ニ圧セラレツ、アルノ状態ニテ確固ヲ
ル方針ナク相着ノ損失ヲ蒙リツ、アルニ不恰之ヲ放任申渡因
ノ自壊作用ヲ俟ケツ、アルノ状況ナリトシカ當廳若御謀並所
贈大森署ノ警告ニ依リ會社側ニ於テハ種々打合セノ結果「休
業セル従業員ニ對シ就業ヲ勸告シタル後最後ノ手段ヲ行フ」
コトニ方針決定セリ

一、交渉經過

七月三日午後五時未頃會社側奈良工場長ハ休業中、従業員十
一名及大日方元男ヲ工場ニ招致最後の勸告ナリト前掲シ出勤
ヲ促シタルニ

従業員側ハ

曩ニ提出セル控願書ニ對シ紙意アル回答ヲ示サ、ル限リ之
ニ意ヲ難シトシテ前記、如キ要求書ヲ提出
會見中亦ニシテ退出セリ

七月四日午後四時頃従業員大日方元男、外齋、松村、長島、
等ハ工場ニ奈良工場長ヲ訪問要求書ニ對スル回答ヲ求メタル
ニ 奈良工場長ヨリ

第一社外者ノ妨害ハ排除スル

第二總同盟加入ハ強制セズ

第三四五ハ拒絶ス

但シ工場長個人トシテ四五ニ對シテハ若干ノ考慮、余地ナキ
ニ非ス

ト回答セルカ従業員側ニイリテハ四五ノ確答ヲ得クク五日午
前十時、會見ヲ約シ退去セリ

七月五日午前十時頃従業員側代表大日方元男外三名ハ工場ニ